

東京都北区告示第285号

東京都北区「財政事情」の作成及び公表に関する条例
(昭和23年3月東京都北区条例第3号)に基づき、令和
3年10月1日から令和4年3月31日までの本区の財政事
情を次のとおり公表する。

令和4年5月1日

東京都北区長 花川 興 惣



目 次

はじめに	1 頁
1 令和4年度当初予算の概況	1 頁
2 令和3年度予算の概況	5 頁
3 令和3年度補正予算(下半期)	6 頁
4 令和3年度歳入歳出予算の執行状況	11 頁
5 区民の負担の状況	14 頁
6 区の財産	14 頁
7 特別区債の状況	14 頁
8 一時借入金	15 頁
むすび	15 頁

はじめに

今回の公表対象は、地方自治法第243条の3第1項及び東京都北区「財政事情」の作成及び公表に関する条例（昭和23年3月東京都北区条例第3号）に基づき作成された令和3年10月1日から令和4年3月31日までの本区の財政状況です。

はじめに、令和4年度当初予算の概況についてお知らせします。

1 令和4年度当初予算の概況

令和4年3月に発表された政府の月例経済報告では、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されるとしています。しかし、ロシアのウクライナ侵攻や原油価格の高騰をはじめとする物価上昇など、世界経済の先行きは極めて不透明であるとしており、今後の地方財政への影響が懸念されるところで

す。

令和4年度予算編成では、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、休止していた事業を原則再開するとともに、区民福祉や区民サービスの向上に寄与する事業を中心に、新規事業の構築やレベルアップを図るなど、限られた資源を各分野に重点的に配分し、ふるさと北区の実現に向け、コロナを克服して未来へ飛躍するための積極的予算としています。

感染症対策については、保健所を中心に、医療提供体制の確保やPCR検査体制のほか、自宅療養者への支援の継続など、引き続き全庁体制で取り組みます。また、最大限の感染症対策を講じながら、必要なサービスの提供に努めている民間福祉事業所や医療機関等に、区独自の支援を講じていきます。中小企業者に対する支援策についても、感染症対策緊急資金のあっせんについて一定枠を継続するほか、マル経融資における利子の補助などを行います。さらに、新型コロナの影響を踏まえた児童の見守り強化の一環として、食品の無料配布を行う民間団体に補助を実施するほか、子ども食堂で、居場所づくりとして学習環境を提供する団体に対して補助額を加算するなど、さまざまな角度から、北区の子どもたちを支えます。

環境問題への対応では、脱炭素社会の実現に向けて、全力で取り組むため、全てのプラスチック・リサイクルに向けた取組を進めます。滝野川地区の収集運搬開始に向けて準備を進めるほか、赤羽・王子地区においても令和5年度からの実施に向けて、地元説明会を開催します。また、区が事業者として脱炭素に取り組むため、新たに庁舎の電力に再生可能エネルギーを導入するほか、「北区役所ゼロカーボン実行計画」を策定します。

デジタル化の推進では、新たに外部人材を登用してCIO補佐官を設置し、DX推進方針を策定するなど、北区のデジタル化に向けた取組を加速化させます。また、全庁業務を対象としたAIチャットボットを新たに導入するとともに、北とびあの施設利用料などの窓口払いにキャッシュレス決済を導入します。そして、多様性社会を推進するにあたり、性の多様性を認め合い、性的少数者の人権と生活向上を目指す施策の一つとして、パートナーシップ宣誓制度を開始します。さらに、これまで面談と電話に限られていた相談方法に加えて、23区では初となるLINEを活用した女性のための相談事業を開始するとともに、アウトリーチ型による支援もあわせて行います。

「地震・風水害に強い安全・安心なまちづくりに全力」の取組では、マイ・タイムライン事業の充実

を図るとともに、コミュニティタイムラインの作成支援をモデル実施します。加えて、荒川氾濫などのハザードマップの普及動画を作成するほか、「国土強靱化地域計画」の策定等を踏まえ、「地域防災計画」の改定に着手します。

「長生きするなら北区が一番」の実現では、高齢者施策において、全高齢者実態把握調査の結果を踏まえ、高齢者あんしんセンターの圏域ごとに分析を行い、分析結果を踏まえた新たな事業展開をモデル実施するほか、上中里つつじ荘の大規模改修に引き続き、清水坂あじさい荘の大規模改修の設計に着手します。

「子育てするなら北区が一番」をより確かなものにする取組では、令和8年度の児童相談所等複合施設の開設を目指し、基本・実施設計に着手します。学校の改築では、堀船中学校の改築に向けて設計に着手するとともに、赤羽台西小学校に加え、新たに十条小学校の改築に向けて準備を進めます。リノベーション事業では、滝野川第四小学校、谷端小学校に加えて、新たに豊川小学校の準備を進めるほか、35人学級の段階的導入と児童数増への対応も着実に進めます。

北区の新たな魅力や価値を創出する施策の展開では、十条駅周辺において、令和6年度の再開発ビルの竣工に向けて、公益施設の検討を進めるとともに、東京都や関係機関と連携して、十条駅付近連続立体交差事業や鉄道付属街路事業を着実に進めます。また、交通では、浮間地域において、コミュニティバスの試験運行に向けて準備を進めます。魅力ある公園づくりについては、飛鳥山公園の Park-PFI 制度による運営の開始に向けて準備を進めるほか、渋沢翁が居を構えた飛鳥山の魅力を最大限に生かすため、公民連携による、飛鳥山のさらなる魅力向上のための検討を行います。また、荒川緑地（豊島ブロック）の令和5年度中の開設に向けて整備を進めるほか、名主の滝公園の再生整備も着実に進めます。

産業振興の分野では、新製品・新技術開発支援事業において、北区ゼロカーボンシティ宣言を踏まえ、補助率を拡充した脱炭素化事業枠を新たに創設します。また、効果的な産業振興施策の展開のため、産業界等との定期的な意見交換会を実施するとともに、北区独自のSDGs認証制度の導入を見据え、昨年末に実施し好評を博した公民連携によるSDGsセミナーに加え、健康経営に関するセミナーも開催します。さらに、北とぴあの大規模改修に向けて、基本設計に着手します。シティプロモーションでは、SDGsと連動した「渋沢×北区×SDGs」の新たな取組や、飛鳥山を拠点として展開した大河ドラマのレガシーを積極的に活用するなど、公民連携の力で、北区の魅力をさらに高め、広く発信します。

◎令和4年度財政規模

会計区分	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	比較	対前年度 増減率
一般会計	千円 162,203,000	千円 153,982,000	千円 8,221,000	% 5.3
国民健康保険事業会計	37,107,665	35,190,175	1,917,490	5.4
介護保険会計	32,496,405	31,594,456	901,949	2.9
後期高齢者医療会計	9,465,484	8,942,604	522,880	5.8
合計	241,272,554	229,709,235	11,563,319	5.0

◎一般会計当初予算
(歳入)

款	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	比較	構成比	対前年度 増減率
	千円	千円	千円	%	%
1 特別区税	31,447,000	29,645,000	1,802,000	19.4	6.1
2 地方譲与税	482,000	443,000	39,000	0.3	8.8
3 利子割交付金	71,000	81,000	△ 10,000	0.0	△ 12.3
4 配当割交付金	560,000	405,000	155,000	0.4	38.3
5 株式等譲渡所得割 交付金	560,000	442,000	118,000	0.4	26.7
6 地方消費税交付金	7,518,000	6,994,000	524,000	4.6	7.5
7 環境性能割交付金	114,000	102,000	12,000	0.1	11.8
8 地方特例交付金	286,000	281,000	5,000	0.2	1.8
9 特別区交付金	55,900,000	49,000,000	6,900,000	34.5	14.1
10 交通安全対策 特別交付金	28,000	20,000	8,000	0.0	40.0
11 ゴルフ場利用税 交付金	12,000	5,000	7,000	0.0	140.0
12 分担金及び負担金	1,973,423	2,088,545	△ 115,122	1.2	△ 5.5
13 使用料及び手数料	3,123,631	2,882,778	240,853	1.9	8.4
14 国庫支出金	29,883,563	29,190,712	692,851	18.4	2.4
15 都支出金	11,451,620	11,710,855	△ 259,235	7.1	△ 2.2
16 財産収入	217,915	237,908	△ 19,993	0.1	△ 8.4
17 寄付金	1	1	0	0.0	0.0
18 繰入金	9,282,944	10,139,625	△ 856,681	5.7	△ 8.4
19 繰越金	1,800,000	1,800,000	0	1.1	0.0
20 諸収入	3,802,903	3,431,576	371,327	2.3	10.8
21 特別区債	3,689,000	5,082,000	△ 1,393,000	2.3	△ 27.4
歳入合計	162,203,000	153,982,000	8,221,000	100.0	5.3

(歳出)

款	令和4年度 予算額	令和3年度 予算額	比較	構成比	対前年度 増減率
	千円	千円	千円	%	%
1 議会費	763,857	787,649	△ 23,792	0.5	△ 3.0
2 総務費	19,034,852	16,767,859	2,266,993	11.7	13.5
3 福祉費	88,205,239	85,808,354	2,396,885	54.4	2.8
4 衛生費	5,698,529	5,507,443	191,086	3.5	3.5
5 環境費	6,154,698	5,333,775	820,923	3.8	15.4
6 産業経済費	2,984,327	3,201,149	△ 216,822	1.8	△ 6.8
7 土木費	12,811,107	11,613,106	1,198,001	7.9	10.3
8 教育費	19,271,342	20,654,073	△ 1,382,731	11.9	△ 6.7
9 公債費	3,212,594	3,295,275	△ 82,681	2.0	△ 2.5
10 諸支出金	3,766,455	713,317	3,053,138	2.3	428.0
11 予備費	300,000	300,000	0	0.2	0.0
歳出合計	162,203,000	153,982,000	8,221,000	100.0	5.3

2 令和3年度予算の概況

令和3年度は、厳しい財政見通しのなか、内部努力を徹底するとともに、緊急的な財源対策を講じたほか、基金と起債の効果的な活用により、感染症対策等に万全を期しつつ、子育て支援、地域福祉の充実や教育環境の確保など、限られた資源を各分野に重点的に配分しました。

新型コロナウイルス感染症対策では、医療機関への支援やワクチン接種の迅速かつ円滑な実施、中小企業の事業継続支援、キャッシュレス決済ポイント還元事業の展開など、感染拡大防止策、経済活動・区民生活の支援、デジタル化の推進を3つの柱として、スピード感をもって取り組みました。

「地震・風水害に強い安全・安心なまちづくりに全力」の取組では、区民の生命・身体・財産を保護し、住民生活・経済活動への被害等を最小限とするため、事前に取り組むべき施策の方向性などを定めた「国土強靱化地域計画」を策定しました。

「長生きするなら北区が一番」の実現では、今後のさらなる事業展開に向けて、区内全高齢者を対象とした、実態把握調査を実施しました。

「子育てするなら北区が一番」をより確かなものにする取組では、産後デイケア事業の対象や利用回数等を大幅に拡充したほか、私立幼稚園を利用する保護者に対して、区独自の保育料補助を拡充しました。学校の改築では、王子第一小学校、西が丘小学校の改築工事や（仮称）都の北学園の整備を進めるとともに、飛鳥中学校のリノベーション工事を行いました。

また、令和3年度は、影響が長期化する新型コロナウイルス感染症への対応や施策の推進を図るため、9回の補正を行いました。

4月補正では、子育て世帯生活支援特別給付金事業費の計上などの補正を行いました。6月補正では、北区土地開発公社運営補助経費の増額などの補正を行いました。9月補正では、新型コロナウイルス対策費の増額などの補正を行いました。11月補正では、新型コロナウイルスワクチン接種関係費の増額などの補正を行いました。12月補正では、子育て世帯への臨時特別給付金事業費の計上などの補正を行いました。1月補正では、生活支援臨時特別給付金事業費の計上の補正を行いました。2月補正では、民間の福祉事業所等や医療機関への特別給付金の計上などの補正を行いました。

◎令和3年度最終予算額

会 計 区 分	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	計(最終予算額)
	千円	千円	千円
一 般 会 計	153,982,000	22,494,562	176,476,562
国 民 健 康 保 険 事 業 会 計	35,190,175	1,307,462	36,497,637
介 護 保 険 会 計	31,594,456	2,133,960	33,728,416
後 期 高 齢 者 医 療 会 計	8,942,604	△ 128,666	8,813,938
合 計	229,709,235	25,807,318	255,516,553

今回はこれらの補正予算のうち、11月の第4回定例会、12月の第4回臨時会、1月の第1回臨時会、2月の第1回定例会で議決された補正予算のあらましをお知らせします。なお、補正予算の議決は、第4回定例会が12月3日、第4回臨時会が12月23日、第1回臨時会が1月14日、第1回定例会が3月3日です。

3 令和3年度補正予算（下半期）

1 一般会計（主要事業）

（1）補正予算第5号（11月）

○留守家庭児童対策費（増額）	24,310千円
○放課後子ども総合プラン推進事業費（増額）	8,073千円
○新型コロナウイルス対策費（増額）	358,384千円
○新型コロナウイルスワクチン接種関係費（増額）	2,752,500千円

（2）補正予算第6号（12月）

○子育て世帯への臨時特別給付金事業費	1,769,128千円
--------------------	-------------

（3）補正予算第7号（12月）

○子育て世帯への臨時特別給付金事業費（増額）	1,758,702千円
------------------------	-------------

（4）補正予算第8号（1月）

○生活支援臨時特別給付金事業費	6,196,560千円
-----------------	-------------

（5）補正予算第9号（2月）

○新型コロナウイルス対策費（増額）	530,488千円
○新型コロナウイルスワクチン接種関係費（増額）	154,250千円
○施設建設・まちづくり・学校改築等基金積立金（増額）	3,989,707千円
○返還金（児童保育委託費返還金ほか7事業）	801,085千円
○民間の福祉事業所等や医療機関への特別給付金【一部再掲】	656,900千円
○中小企業金融対策費（減額）	△227,000千円
○学校改築事業費（小学校費）（減額）	△289,000千円
○仮称都の北学園建設費（減額）	△356,000千円
○職員給与費等（減額）	△250,000千円
○各種事業費補正（増額分及び減額分を相殺）	△1,298,365千円

(6) 補正予算第5号(11月)・6号(12月)・7号(12月)・8号(1月)・9号(2月)の概要
(歳入)

款	前期までの 予算額	補正予算額 (第5号) 11月	補正予算額 (第6号) 12月	補正予算額 (第7号) 12月	補正予算額 (第8号) 1月	補正予算額 (第9号) 2月	予算額計	構成比
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	%
1 特別区税	29,645,000	0	0	0	0	1,336,000	30,981,000	17.6
2 地方譲与税	443,000	0	0	0	0	0	443,000	0.3
3 利子割交付金	81,000	0	0	0	0	0	81,000	0.0
4 配当割交付金	405,000	0	0	0	0	0	405,000	0.2
5 株式等譲渡所得割 交付金	442,000	0	0	0	0	0	442,000	0.2
6 地方消費税交付金	6,994,000	0	0	0	0	841,000	7,835,000	4.4
7 環境性能割交付金	102,000	0	0	0	0	0	102,000	0.1
8 地方特例交付金	281,000	0	0	0	0	0	281,000	0.2
9 特別区交付金	49,000,000	0	0	0	0	5,500,000	54,500,000	30.9
10 交通安全対策 特別交付金	20,000	0	0	0	0	0	20,000	0.0
11 ゴルフ場利用税 交付金	5,000	0	0	0	0	0	5,000	0.0
12 分担金及び負担金	2,088,545	0	0	0	0	△ 122,093	1,966,452	1.1
13 使用料及び手数料	2,882,778	0	0	0	0	△ 37,799	2,844,979	1.6
14 国庫支出金	31,917,555	2,940,222	1,769,128	1,758,702	6,196,560	308,845	44,891,012	25.4
15 都支出金	12,054,429	0	0	0	0	682,659	12,737,088	7.2
16 財産収入	237,908	0	0	0	0	130,924	368,832	0.2
17 寄付金	51	0	0	0	0	25,901	25,952	0.0
18 繰入金	11,702,255	212,338	0	0	0	△ 4,353,859	7,560,734	4.3
19 繰越金	3,350,338	0	0	0	0	0	3,350,338	1.9
20 諸収入	3,442,588	0	0	0	0	△ 413	3,442,175	2.0
21 特別区債	5,450,000	0	0	0	0	△ 1,256,000	4,194,000	2.4
歳入合計	160,544,447	3,152,560	1,769,128	1,758,702	6,196,560	3,055,165	176,476,562	100.0

(歳出)

款	前期までの 予算額	補正予算額 (第5号) 11月	補正予算額 (第6号) 12月	補正予算額 (第7号) 12月	補正予算額 (第8号) 1月	補正予算額 (第9号) 2月	予算額計	構成比
1 議会費	千円 787,649	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 0	千円 787,649	% 0.4
2 総務費	17,705,027	0	0	0	0	△ 163,539	17,541,488	9.9
3 福祉費	87,459,696	41,676	1,769,128	1,758,702	6,196,560	△ 546,344	96,679,418	54.8
4 衛生費	8,033,843	3,110,884	0	0	0	564,148	11,708,875	6.6
5 環境費	5,440,731	0	0	0	0	△ 33,092	5,407,639	3.1
6 産業経済費	3,778,389	0	0	0	0	△ 308,781	3,469,608	2.0
7 土木費	11,680,883	0	0	0	0	△ 847,828	10,833,055	6.1
8 教育費	21,349,637	0	0	0	0	△ 557,755	20,791,882	11.8
9 公債費	3,295,275	0	0	0	0	0	3,295,275	1.9
10 諸支出金	713,317	0	0	0	0	4,948,356	5,661,673	3.2
11 予備費	300,000	0	0	0	0	0	300,000	0.2
歳出合計	160,544,447	3,152,560	1,769,128	1,758,702	6,196,560	3,055,165	176,476,562	100.0

(7) 繰越明許費

令和3年度から4年度に繰り越して使用できるものと定めた事業及び限度額は下表のとおりです。

款	事業名	限度額
総務費		千円 8,228
	住民情報系システム運営	8,228
福祉費		6,910,794
	生活支援臨時特別給付金事業	6,196,560
	介護サービス事業所特別給付金事業	300,000
	手話通訳者派遣事業	1,106
	障害福祉サービス事業所特別給付金事業	124,000
	子育て世帯への臨時特別給付金事業	175,300
	民間保育所運営支援事業	90,000
	児童館運営	1,500
	子どもセンター等運営	1,500
	放課後子ども総合プラン推進事業	16,600
	児童館等維持補修	2,228
	子ども家庭在宅サービス事業	2,000
衛生費		3,008,350
	新型コロナウイルス対策	101,600
	新型コロナウイルスワクチン接種関係	2,906,750
産業経済費		7,200
	公衆浴場施設・設備等補助	7,200
土木費		141,309
	都市計画街路新設	34,000
	橋梁等防災対策	85,467
	公園等維持管理	14,000
	まちづくり推進課管理事務	7,842
教育費		12,500
	私立幼稚園幼児教育振興	11,500
	私立認定こども園補助事業	1,000

2 特別会計（主要事業）

（1）補正予算（2月）

◎国民健康保険事業会計（補正予算第3号）

○一般被保険者療養給付費（増額）	839,201千円
○保険給付費等交付金償還金（増額）	277,589千円
○一般被保険者医療給付費（減額）	△152,727千円

◎介護保険会計（補正予算第2号）

○介護予防訪問型サービス費（減額）	△46,271千円
○介護予防サービス給付費（減額）	△53,000千円
○介護予防通所型サービス費（減額）	△88,445千円

◎後期高齢者医療会計（補正予算第2号）

○広域連合分賦金（減額）	△365,645千円
--------------	------------

（2）補正予算（2月）の概要

会計区分	前期までの 予算額	補正予算額 2月	予算額計
国民健康保険事業会計	千円 35,325,483	千円 1,172,154	千円 36,497,637
介護保険会計	33,952,438	△224,022	33,728,416
後期高齢者医療会計	9,180,154	△366,216	8,813,938

4 令和3年度歳入歳出予算の執行状況

令和3年度における収支の状況は、下表のとおりです。

(収 入)

(令和4年3月31日現在)

会 計 区 分	予 算 現 額 (A)	収 入 済 額 (B)	差引過△不足額 (B - A)	収 入 率 (B/A×100)
一 般 会 計	千円 178,978,046	千円 166,661,534	千円 △ 12,316,512	% 93.1
国民健康保険事業会計	36,497,637	33,647,638	△ 2,849,999	92.2
介 護 保 険 会 計	33,728,416	33,472,723	△ 255,693	99.2
後期高齢者医療会計	8,813,938	8,586,062	△ 227,876	97.4

(支 出)

(令和4年3月31日現在)

会 計 区 分	予 算 現 額 (A)	支 出 済 額 (B)	予 算 残 額 (A - B)	執 行 率 (B/A×100)
一 般 会 計	千円 178,978,046	千円 149,155,416	千円 29,822,630	% 83.3
国民健康保険事業会計	36,497,637	33,252,565	3,245,072	91.1
介 護 保 険 会 計	33,728,416	30,155,143	3,573,273	89.4
後期高齢者医療会計	8,813,938	8,457,473	356,465	96.0

※収入、支出ともに、「予算現額(A)」欄の金額には、令和2年度からの繰越額が含まれています。一般会計には繰越明許費25億148万4千円が含まれています。

※「収入済額(B)」欄と「支出済額(B)」欄の金額は令和4年3月31日現在のもので、出納整理期間(令和4年4月1日～5月31日)の金額は含まれません。そのため、最終的な決算額とは異なります。

◎一般会計収支状況（款別）

（収入）

（令和4年3月31日現在）

款	予算現額 (A)	収入済額 (B)	差引過△不足額 (B-A)	収入率 (B/A×100)
	千円	千円	千円	%
1 特別区税	30,981,000	28,872,703	△ 2,108,297	93.2
2 地方譲与税	443,000	480,577	37,577	108.5
3 利子割交付金	81,000	79,355	△ 1,645	98.0
4 配当割交付金	405,000	570,948	165,948	141.0
5 株式等譲渡所得割 交付金	442,000	698,992	256,992	158.1
6 地方消費税交付金	7,835,000	8,069,866	234,866	103.0
7 環境性能割交付金	102,000	105,806	3,806	103.7
8 地方特例交付金	281,000	283,265	2,265	100.8
9 特別区交付金	54,500,000	55,121,038	621,038	101.1
10 交通安全対策 特別交付金	20,000	27,257	7,257	136.3
11 ゴルフ場利用税 交付金	5,000	10,305	5,305	206.1
12 分担金及び負担金	1,966,452	1,795,631	△ 170,821	91.3
13 使用料及び手数料	2,844,979	2,614,070	△ 230,909	91.9
14 国庫支出金	46,902,564	41,415,076	△ 5,487,488	88.3
15 都支出金	13,041,088	10,380,905	△ 2,660,183	79.6
16 財産収入	368,832	589,932	221,100	159.9
17 寄付金	25,952	47,608	21,656	183.4
18 繰入金	7,560,734	6,649,472	△ 911,262	87.9
19 繰越金	3,536,270	3,536,270	0	100.0
20 諸収入	3,442,175	3,174,258	△ 267,917	92.2
21 特別区債	4,194,000	2,138,200	△ 2,055,800	51.0
収入合計	178,978,046	166,661,534	△ 12,316,512	93.1

※予算現額(A)には令和2年度からの繰越明許費繰越額25億148万4千円が含まれています。

(支 出)

(令和4年3月31日現在)

款	予算現額 (A)	支出済額 (B)	予算残額 (A-B)	執行率 (B/A×100)
	千円	千円	千円	%
1 議 会 費	787,649	752,888	34,761	95.6
2 総 務 費	17,596,489	13,460,711	4,135,778	76.5
3 福 祉 費	96,700,112	86,453,869	10,246,243	89.4
4 衛 生 費	13,908,114	9,168,327	4,739,787	65.9
5 環 境 費	5,407,639	4,910,751	496,888	90.8
6 産 業 経 済 費	3,691,598	3,197,356	494,242	86.6
7 土 木 費	10,960,514	6,041,687	4,918,827	55.1
8 教 育 費	20,830,467	16,477,996	4,352,471	79.1
9 公 債 費	3,295,275	3,164,032	131,243	96.0
10 諸 支 出 金	5,661,673	5,527,799	133,874	97.6
11 予 備 費	138,516	0	138,516	0.0
支 出 合 計	178,978,046	149,155,416	29,822,630	83.3

※予算現額(A)には令和2年度からの繰越明許費繰越額25億148万4千円が含まれています。

5 区民の負担の状況

令和4年3月31日現在の特別区民税（現年課税分）の調定額は、約286億8,650万円です。これを区民1人あたり及び1世帯あたりにしますと下記のようになります。

1人あたり	81,637円
1世帯あたり	143,530円

令和4年4月1日現在の住民基本台帳人口と世帯数

総人口	351,390人
世帯数	199,864世帯

6 区 の 財 産

区民の皆さまが利用する公園、学校、保育園、図書館、区民センターなどの土地、建物や有価証券など区の財産は下表のとおりです。

(令和4年3月31日現在)

種 別	数 量
土 地	1,197,710m ²
建 物	715,217m ²
権 利 等	1,646m ²
株 券 等	108株
出資による権利	12件

7 特別区債の状況

学校の改築や区民センターなどの施設建設、公園の用地取得などは一時に多額の費用を必要とします。これらの施設は、区民の皆さまが長期にわたって利用するものです。そこで、毎年度の財政負担をならし、その費用を将来の区民の皆さまにも負担して頂くという考えのもと、国や民間からの資金を長期に借り入れることがあります。これを「特別区債」といいます。

特別区債の現在高は、下表のとおりです。

令和2年度末 現在高 (A)	令和3年度 発行見込額 (B)	令和3年度償還見込額			令和3年度末 現在高見込額 (A+B-C)
		元金(C)	利子	計	
千円 27,796,497	千円 4,194,000	千円 3,060,030	千円 103,936	千円 3,163,966	千円 28,930,467

8 一 時 借 入 金

区の事業を行う際に、一時的に収入と支出のバランスがくずれ、区の現金が不足することがあります。この場合、年度内に返済することを条件に、金融機関などから短期的に現金を借り入れて、事業を執行していきます。これを「一時借入金」といいますが、今期は借入を行う必要がありませんでした。

む す び

以上、令和4年度当初予算の概況と令和3年度下半期における本区の財政状況について、ご説明しました。

令和4年度における区政をとりまく財政状況を見回すと、感染対策に万全を期し、経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されています。

しかし、ロシアのウクライナ侵攻や原油価格の高騰をはじめとする物価上昇など、世界経済の先行きは極めて不透明であり、今後の地方財政への影響が懸念されるところです。

こうした状況を踏まえつつ、今後とも効率的な行財政運営を基本に健全財政を維持し、施策の充実に努めてまいります。

区民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。